

JSR 株式会社

2024 年 3 月期年度決算説明電話会議 議事録

(2024 年 4 月 30 日開催)

決算補足資料:

https://ssl4.eir-parts.net/doc/4185/ir_material_for_fiscal_ym/154513/00.pdf

本日は簡潔に全体サマリーと決算のポイントを説明する。

P3 全体サマリー :

- ・昨年 6 月発表の JICC との戦略的パートナーシップ構築につき、2024 年 3 月 19 日に TOB が開始され、4 月 16 日に成立した。今後、非上場となるメリットを生かし、大胆かつ中長期的な戦略投資、構造改革、業界再編の機動的推進を目指していく。当社のビジョンそのものは今後も不変。グローバルトップの先端技術企業として、持続的価値の創造に邁進していく。
- ・FY23 通期実績は減収減益。SEMI は半導体ダウンサイクルの影響を受け売上は YoY-6%。3Q まで二けた以上のマイナス幅であったが市場の回復トレンドにより緩和された。又将来の事業成長につながる EUV、メタルオキサイドレジスト (MOR)、アジア市場での競争力強化に向けた戦略的投資を継続して実施した。LS は構造改革的な観点も含む一時費用を 1Q と 4Q に計上し業績としては大幅減益となった。
- ・今後の見通し。SEMI 関連は FY22Q4 を底に売上収益は右肩で回復しており当 4Q 売上は YoY+25% 程度となった。足元も回復は継続しているが、本格的な成長軌道への回帰は 25 年と見込む。当社は先端フォトレジストである EUV で、最先端のロジック、メモリー分野でシェアを拡大しており、今後の半導体成長期において売上収益の拡大に大きく貢献すると見込む。更に 2020 年代後半に本格普及が期待される次世代のメタルオキサイドレジスト (MOR) の事業開発でも業界トップで進展している。
- ・LS はバイオ医薬分野の中長期的な高成長見通しの中、ユニークな技術で市場ポジションを獲得している。足元のバイオテック関連の弱い環境の中、CDMO は昨年度に続き 2 桁成長を継続する計画。これまでの急速な事業拡大、グローバルな生産規模拡大の中でオペレーションの立上げが遅延し、それに伴い、事業リストラチャリング、オペレーション強化等の構造改革を並行で進めてきた。これらの成果が 24 年度及びそれ以降に確実に現れると見込む。
- ・成立した TOB については、今後スクイズアウトの手続きを経て、今夏以降には非上場の会社として新たなスタートを切る。
- ・JICC との戦略的パートナーシップを通じ、当社の各事業の戦略推進を強化していく。又半導体材料業界の再編を志向し、国内産業の国際的競争力の強化に貢献していく。今後ますます社会的重要性が高まる一方、投資競争が加速する半導体業界において、グローバルな半導体分野のお客様に対し、先端技術による、優れた品質のサービスを提供し続ける基盤を獲得していく。
- ・将来は、再上場を目指す方針。全てのステークホルダーへの価値創造、サステナブル社会への貢献等企業の責務を果たす方針は変わらない。経営のガバナンスも向上させていく。

- ・尚、24 年度は市場回復及び特殊要因の剥落により業績改善を見込む。上場廃止になることを踏まえ、具体的業績予想の開示は行わない。

P4.決算のポイント：FY23 実績

- ・FY23 の実績は売上高 4046 億円、コア営業利益 83 億円。対前年で大幅な減益。
- ・DS は主に SEMI の半導体サイクルによる需要減少に起因する販売減と戦略投資による固定費の拡大が減益の要因。22 年度 4Q を底に売上収益は回復トレンドにある。DISP はパネルメーカーの稼働率の回復により増収。パネル市況も改善基調にあり想定より強い市場回復が見られた。
- ・LS は CDMO で 25%成長も主に特殊要因の影響により大幅な減益となった。特殊要因は KBI のコロラド工場の大規模修繕により約 3 ヶ月稼働停止が生じた影響の他、COVID-19 環境下で資材調達リスクが高まった時期の在庫の過剰投資分の減損、バイオテック業界低迷に伴う顧客向け貸倒引当金等。当年度、将来のリスクを伴う部分も含めて厳格に損失認識を行った。減損する在庫については 20 年度～22 年度に購買した物品。23 年度以降の購買分については問題なし。オペレーション面でも 23 年度の新工場の生産活動は順調に進展した。今期よりこれらの確実な利益改善を見込む。
- ・合成樹脂事業は主要な顧客業界である自動車需要は回復基調。一方その他家電、OA 機器や建材向け等の需要は減速し減収となった。

P5 以降、数字の詳細を記載。24 年度の業績見通しについては、開示は行わない方針。一方、市場見通しについては P10 に記載している。

このようなスタイルでの四半期毎の決算説明会は今回が最後になる見込み。別途会社の経営や事業の状況については当社ウェブサイトや説明会等を通じて開示をしていく予定。

引き続き、投資家、メディアの皆様、JSR を宜しく願います。

【表記注記】

デジタルソリューション	: DS
半導体材料事業	: SEMI
ディスプレイ材料事業	: DISP
エッジコンピューティング	: EC
ライフサイエンス	: LS
合成樹脂	: PLA

以上